

平成 17 年国勢調査従業地・通学地集計結果の概要

平成 17 年 10 月 1 日現在で実施された「平成 17 年国勢調査」従業地・通学地集計結果の北九州市分の概要をお知らせします。

【結果の要約】

○昼間人口

平成 17 年の北九州市の常住人口は、992,654 人、昼間人口は、1,020,447 人、昼夜間人口比率は 102.8 となっている。

大都市（特別区部と 14 政令市）間で比較すると、昼夜間人口比率が高い方から数えて、8 番目となっている。

区別に昼夜間人口比率をみると、小倉北区が 134.1 ともっとも高く、小倉南区が 86.9 ともっとも低くなっている。

○流入・流出人口

昼間に就業・通学のために、市外から流入する人口は 78,115 人、市外へ流出する人口は 50,322 人となっている。

○市内に常住する通勤・通学人口

15 歳以上就業者・通学者について、従業・通学地別に見ると、自区で従業・通学する人の構成比は、57.5%ともっとも高くなっており、以下自市内他区 32.3%、他市区町村 10.2%となっている。

1 昼間人口

平成17年国勢調査の昼間人口（注1）は、1,020,447人、昼夜間人口比率（注2）は102.8となっている。

図1 昼間人口及び昼夜間人口比率の推移

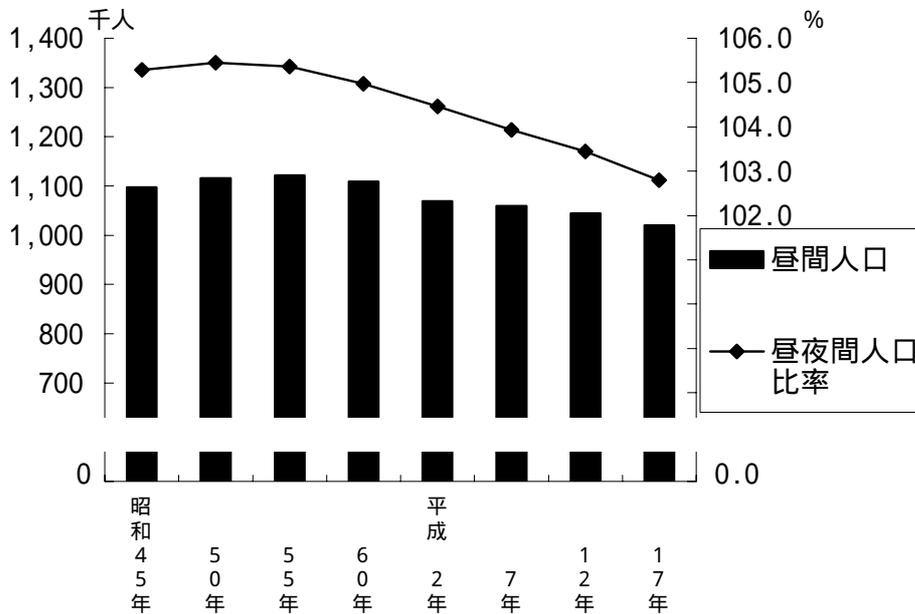


表1 昼間人口及び昼夜間人口比率の推移

	常住人口 (夜間人口)	昼間人口	対前回比		昼夜間人口比率	
			増減	増減率(%)	対前回比 増減	対前回比 増減
昭和45年	1,042,321	1,097,389	8,039	0.7	105.3	0.8
昭和50年	1,058,058	1,115,649	18,260	1.7	105.4	0.1
昭和55年	1,063,948	1,121,011	5,362	0.5	105.4	0.0
昭和60年	1,055,986	1,108,500	12,511	1.1	105.0	0.4
平成2年	1,022,737	1,068,385	40,115	3.6	104.5	0.5
平成7年	1,018,897	1,058,927	9,458	0.9	103.9	0.6
平成12年	1,010,127	1,044,966	13,961	1.3	103.4	0.5
平成17年	992,654	1,020,447	24,519	2.3	102.8	0.6

注1：「昼間人口」とは、常住地からの通勤・通学による流入・流出口を加減して算出した「従業地・通学地による人口」である。算出は次式による。

$$\text{北九州市の昼間人口} = \text{北九州市の常住人口} - \text{北九州市からの流出口} + \text{北九州市への流入人口}$$

（ここで用いる流入・流出口には15歳未満の者も含まれる。）

注2：「昼夜間人口比率」は次式により算出される。

$$\text{北九州市の昼夜間人口比率} = (\text{北九州市の昼間人口} / \text{北九州市の常住人口}) \times 100$$

注3：「夜間人口」とは、常住人口のことであるが、従業地・通学地集計における常住人口及び昼間人口には年齢不詳の者を含まない。

区別に昼間人口を見ると、八幡西区がもっとも多く246,131人、次いで小倉北区245,461人、小倉南区186,321人と続いている。

昼夜間人口比率が100を超えているのは、小倉北区134.1、戸畑区117.2、八幡東区103.0の3区であった。

図2 行政区別常住人口、昼間人口

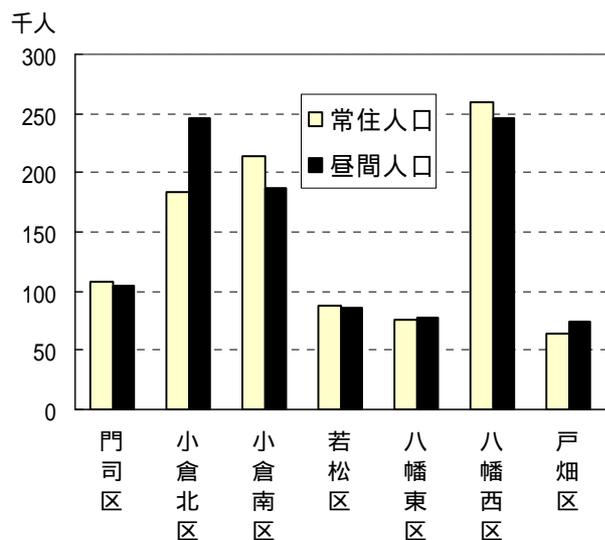


図3 行政区別昼夜間人口比率

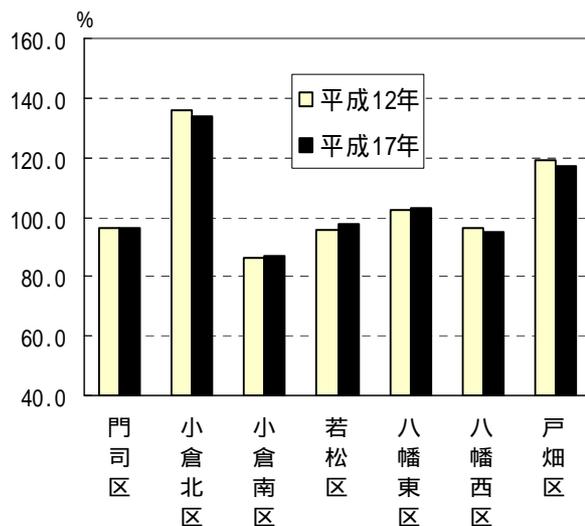


表2 行政区別常住人口、昼間人口、昼夜間人口比率

	常住人口				昼間人口				昼夜間人口比率	
	平成12年	平成17年	増減		平成12年	平成17年	増減		平成12年	平成17年
			実数	率(%)			実数	率(%)		
北九州市	1,010,127	992,654	17,473	1.7	1,044,966	1,020,447	24,519	2.3	103.4	102.8
門司区	114,559	108,647	5,912	5.2	110,518	104,556	5,962	5.4	96.5	96.2
小倉北区	187,347	183,108	4,239	2.3	254,816	245,461	9,355	3.7	136.0	134.1
小倉南区	213,219	214,505	1,286	0.6	184,120	186,321	2,201	1.2	86.4	86.9
若松区	89,358	87,317	2,041	2.3	85,554	85,303	251	0.3	95.7	97.7
八幡東区	80,584	75,814	4,770	5.9	82,643	78,051	4,592	5.6	102.6	103.0
八幡西区	260,119	259,565	554	0.2	250,057	246,131	3,926	1.6	96.1	94.8
戸畑区	64,941	63,698	1,243	1.9	77,258	74,624	2,634	3.4	119.0	117.2

2 流入・流出口

流入人口（昼間に就業・通学のために市外から流入する人口）は78,115人、流出口（市外へ流出する人口）は50,322人となっており、流入超過人口は27,793人となっている。

表3 流入・流出口の推移

年次	流入人口			流出口			流入超過人口
	人口	対前回比増減数	対前回比増減率(%)	人口	対前回比増減数	対前回比増減率(%)	
昭和45年	72,164	11,371	18.7	17,096	3,265	23.6	55,068
昭和50年	79,510	7,346	10.2	21,919	4,823	28.2	57,591
昭和55年	84,254	4,744	6.0	27,191	5,272	24.1	57,063
昭和60年	83,243	1,011	1.2	30,729	3,538	13.0	52,514
平成2年	83,884	641	0.8	38,236	7,507	24.4	45,648
平成7年	86,776	2,892	3.4	46,746	8,510	22.3	40,030
平成12年	81,407	5,369	6.2	46,568	178	0.4	34,839
平成17年	78,115	3,292	4.0	50,322	3,754	8.1	27,793

区別に見ると、流入人口がもっとも多いのは、小倉北区89,646人となっており、以下八幡西区41,409人、戸畑区27,109人となっている。

一方、流出口がもっとも多いのは、八幡西区54,843人となっており、以下小倉南区52,320人、小倉北区27,293人となっている。

流入人口を市町村別に見ると、中間市からの9,461人がもっとも多く、以下水巻町7,199人、下関市6,135人、行橋市6,031人と続いている。

一方、流出口を市町村別に見ると、福岡市への11,389人がもっとも多く、以下苅田町5,245人、直方市4,101人、中間市3,929人と続いている。

表4 行政区別流入・流出人口

	流入人口				流出人口			
	平成12年	平成17年	増減数	増減率	平成12年	平成17年	増減数	増減率
北九州市 1)	81,407	78,115	3,292	-4.0%	46,568	50,322	3,754	8.1%
門司区	16,362	16,354	8	0.0%	20,403	20,445	42	0.2%
小倉北区	93,754	89,646	4,108	-4.4%	26,285	27,293	1,008	3.8%
小倉南区	22,684	24,136	1,452	6.4%	51,783	52,320	537	1.0%
若松区	16,138	18,089	1,951	12.1%	19,942	20,103	161	0.8%
八幡東区	23,254	22,222	1,032	-4.4%	21,195	19,985	1,210	-5.7%
八幡西区	43,090	41,409	1,681	-3.9%	53,152	54,843	1,691	3.2%
戸畑区	28,622	27,109	1,513	-5.3%	16,305	16,183	122	-0.7%

1) 区別数値は、区間移動を含んでいるため、市全体の総数に一致しない。

表5 流入・流出市町村別 15歳以上就業者数、通学者数

	総数				15歳以上就業者				15歳以上通学者			
	平成12年	平成17年	実数	率(%)	平成12年	平成17年	実数	率(%)	平成12年	平成17年	実数	率(%)
流入人口	80,883	77,535	3,348	4.1	67,097	65,365	1,732	2.6	13,786	12,170	1,616	11.7
県内	70,407	67,457	2,950	4.2	58,727	57,316	1,411	2.4	11,680	10,141	1,539	13.2
福岡市	4,157	4,606	449	10.8	3,433	3,842	409	11.9	724	764	40	5.5
直方市	4,280	4,029	251	5.9	3,717	3,580	137	3.7	563	449	114	20.2
飯塚市	882	908	26	2.9	684	732	48	7.0	198	176	22	11.1
田川市	1,189	1,192	3	0.3	893	949	56	6.3	296	243	53	17.9
行橋市	6,774	6,031	743	11.0	5,654	5,167	487	8.6	1,120	864	256	22.9
豊前市	918	814	104	11.3	723	622	101	14.0	195	192	3	1.5
中間市	10,210	9,461	749	7.3	8,898	8,471	427	4.8	1,312	990	322	24.5
宗像市	4,481	4,562	81	1.8	3,814	3,843	29	0.8	667	719	52	7.8
古賀市	659	723	64	9.7	533	582	49	9.2	126	141	15	11.9
福津市 1)	1,396	1,247	149	10.7	1,181	1,018	163	13.8	215	229	14	6.5
芦屋町	2,712	2,849	137	5.1	2,232	2,444	212	9.5	480	405	75	15.6
水巻町	7,449	7,199	250	3.4	6,306	6,258	48	0.8	1,143	941	202	17.7
岡垣町	4,780	4,708	72	1.5	3,981	3,927	54	1.4	799	781	18	2.3
遠賀町	4,038	3,749	289	7.2	3,374	3,171	203	6.0	664	578	86	13.0
鞍手町	1,880	1,649	231	12.3	1,497	1,425	72	4.8	383	224	159	41.5
宮田町	615	574	41	6.7	514	487	27	5.3	101	87	14	13.9
香春町	705	641	64	9.1	584	544	40	6.8	121	97	24	19.8
苅田町	4,410	4,158	252	5.7	3,774	3,613	161	4.3	636	545	91	14.3
犀川町	512	445	67	13.1	414	371	43	10.4	98	74	24	24.5
勝山町	549	495	54	9.8	436	421	15	3.4	113	74	39	34.5
豊津町	602	497	105	17.4	486	431	55	11.3	116	66	50	43.1
椎田町	699	616	83	11.9	596	515	81	13.6	103	101	2	1.9
築城町	613	534	79	12.9	507	439	68	13.4	106	95	11	10.4
その他市町村	6,149	5,770	379	6.2	4,707	4,464	243	5.2	1,442	1,306	136	9.4
他県	10,476	10,078	398	3.8	8,370	8,049	321	3.8	2,106	2,029	77	3.7
山口県	7,296	6,870	426	5.8	5,667	5,418	249	4.4	1,629	1,452	177	10.9
下関市	6,111	6,135	24	0.4	4,815	4,942	127	2.6	1,296	1,193	103	7.9
大分県	1,443	1,244	199	13.8	1,169	970	199	17.0	274	274	0	0.0
中津市	782	790	8	1.0	626	603	23	3.7	156	187	31	19.9
その他都道府県	1,737	1,964	227	13.1	1,534	1,661	127	8.3	203	303	100	49.3
流出人口	46,486	50,200	3,714	8.0	40,183	43,995	3,812	9.5	6,303	6,205	98	1.6
県内	39,492	42,691	3,199	8.1	34,106	37,391	3,285	9.6	5,386	5,300	86	1.6
福岡市	10,879	11,389	510	4.7	8,100	8,377	277	3.4	2,779	3,012	233	8.4
直方市	3,379	4,101	722	21.4	3,089	3,833	744	24.1	290	268	22	7.6
飯塚市	1,004	1,118	114	11.4	807	898	91	11.3	197	220	23	11.7
田川市	761	895	134	17.6	678	815	137	20.2	83	80	3	3.6
行橋市	2,001	2,227	226	11.3	1,937	2,153	216	11.2	64	74	10	15.6
中間市	4,292	3,929	363	8.5	3,409	3,285	124	3.6	883	644	239	27.1
宗像市	1,087	1,229	142	13.1	717	905	188	26.2	370	324	46	12.4
芦屋町	922	1,016	94	10.2	921	1,012	91	9.9	1	4	3	300.0
水巻町	2,174	2,307	133	6.1	2,163	2,292	129	6.0	11	15	4	36.4
岡垣町	997	1,051	54	5.4	996	1,048	52	5.2	1	3	2	200.0
遠賀町	1,790	1,844	54	3.0	1,693	1,756	63	3.7	97	88	9	9.3
鞍手町	1,044	1,034	10	1.0	1,018	1,019	1	0.1	26	15	11	42.3
宮田町	1,102	1,736	634	57.5	1,095	1,723	628	57.4	7	13	6	85.7
苅田町	4,583	5,245	662	14.4	4,326	4,990	664	15.3	257	255	2	0.8
その他市町村	3,477	3,570	93	2.7	3,157	3,285	128	4.1	320	285	35	10.9
他県	6,994	7,509	515	7.4	6,077	6,604	527	8.7	917	905	12	1.3
山口県	4,468	4,499	31	0.7	3,826	4,008	182	4.8	642	491	151	23.5
下関市	3,802	3,851	49	1.3	3,225	3,473	248	7.7	577	378	199	34.5
その他都道府県	2,526	3,010	484	19.2	2,251	2,596	345	15.3	275	414	139	50.5

1) 平成12年の数値は、福岡市と津屋崎町の数値を合計したものである。

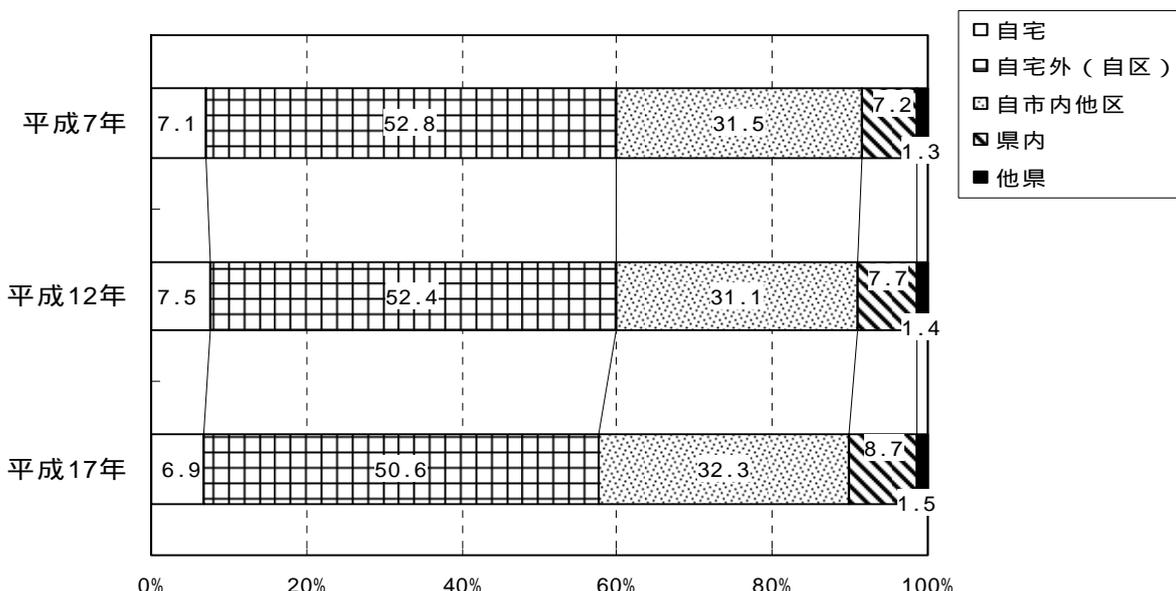
3 市内に常住する通勤・通学人口

15歳以上就業者・通学者について、従業・通学地別に見ると、自区で従業・通学する人の構成比は、57.5%ともっとも高くなっており、以下自市内他区 32.3%、他市区町村 10.2%と続いている。

表6 常住地による従業・通学地別 15歳以上就業者数、通学者数の推移

	総数(人)			構成比(%)			増減率(%)	
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年	(12/7)	(17/12)
就業者・通学者	544,387	515,243	490,381	100.0	100.0	100.0	5.4	4.8
自市で従業・通学	497,776	468,757	440,181	91.4	91.0	89.8	5.8	6.1
自区で従業・通学	326,105	308,730	281,936	59.9	59.9	57.5	5.3	8.7
自宅	38,789	38,822	33,791	7.1	7.5	6.9	0.1	13.0
自宅外	287,316	269,908	248,145	52.8	52.4	50.6	6.1	8.1
自市内他区	171,671	160,027	158,245	31.5	31.1	32.3	6.8	1.1
他市区町村	46,611	46,486	50,200	8.6	9.0	10.2	0.3	8.0
県内	39,436	39,492	42,691	7.2	7.7	8.7	0.1	8.1
他県	7,175	6,994	7,509	1.3	1.4	1.5	2.5	7.4
就業者	469,396	452,085	436,842	100.0	100.0	100.0	3.7	3.4
自市	430,703	411,902	392,847	91.8	91.1	89.9	4.4	4.6
自区	282,404	270,362	250,979	60.2	59.8	57.5	4.3	7.2
自宅	38,789	38,822	33,791	8.3	8.6	7.7	0.1	13.0
自宅外	243,615	231,540	217,188	51.9	51.2	49.7	5.0	6.2
自市内他区	148,299	141,540	141,868	31.6	31.3	32.5	4.6	0.2
他市区町村	38,693	40,183	43,995	8.2	8.9	10.1	3.9	9.5
県内	32,898	34,106	37,391	7.0	7.5	8.6	3.7	9.6
他県	5,795	6,077	6,604	1.2	1.3	1.5	4.9	8.7
通学者	74,991	63,158	53,539	100.0	100.0	100.0	15.8	15.2
自市	67,073	56,855	47,334	89.4	90.0	88.4	15.2	16.7
自区	43,701	38,368	30,957	58.3	60.7	57.8	12.2	19.3
自市内他区	23,372	18,487	16,377	31.2	29.3	30.6	20.9	11.4
他市区町村	7,918	6,303	6,205	10.6	10.0	11.6	20.4	1.6
県内	6,538	5,386	5,300	8.7	8.5	9.9	17.6	1.6
他県	1,380	917	905	1.8	1.5	1.7	33.6	1.3

図4 常住地による従業・通学地別 15歳以上就業者数、通学者数の推移



従業地の構成比を男女別に見ると、自区（自宅外）で従業するものが男 43.8%、女 57.4%となっており、女が高くなっている。一方、自市内他区、県内他市町村、他県で従業する人の構成比は、それぞれ男 35.6%、10.8%、2.1%、女 28.4%、5.6%、0.7%となっており、いずれも男が高くなっている。

さらに年齢別に見ると、男女とも年齢が上がるにつれて、自宅での従業者の割合が高くなっている。

表7 常住地による従業地、年齢、男女別 15 歳以上就業者数の構成比

男女、年齢 (5歳階級)	就業者	自宅	自区 (自宅外)	自市内 他区	県内 他市町村	他県
総数	100.0	7.7	49.7	32.5	8.6	1.5
15～19歳	100.0	1.1	61.8	28.7	7.6	0.9
20～24	100.0	1.5	52.8	35.7	8.6	1.4
25～29	100.0	2.3	48.1	38.1	10.0	1.5
30～34	100.0	3.3	46.7	37.9	10.7	1.5
35～39	100.0	4.9	46.9	36.5	10.1	1.5
40～44	100.0	5.1	47.9	35.5	10.0	1.5
45～49	100.0	6.0	48.9	33.5	9.9	1.7
50～54	100.0	7.8	51.0	31.3	8.2	1.7
55～59	100.0	9.8	51.6	29.5	7.4	1.7
60～64	100.0	13.8	53.3	26.3	5.3	1.4
65歳以上	100.0	30.6	49.0	16.2	3.3	0.9
男	100.0	7.6	43.8	35.6	10.8	2.1
15～19歳	100.0	1.3	59.1	29.2	9.3	1.0
20～24	100.0	2.0	51.2	35.0	10.2	1.7
25～29	100.0	2.6	46.3	37.6	11.5	1.9
30～34	100.0	3.2	42.8	39.5	12.6	2.0
35～39	100.0	4.7	41.1	39.5	12.6	2.1
40～44	100.0	5.0	39.1	40.0	13.5	2.4
45～49	100.0	6.2	39.7	38.0	13.4	2.7
50～54	100.0	7.5	42.1	36.7	11.1	2.6
55～59	100.0	9.3	43.6	34.8	9.8	2.5
60～64	100.0	12.3	47.1	31.7	7.0	2.0
65歳以上	100.0	27.3	47.8	19.4	4.4	1.1
女	100.0	7.9	57.4	28.4	5.6	0.7
15～19歳	100.0	0.8	64.7	28.0	5.6	0.8
20～24	100.0	1.0	54.3	36.4	7.1	1.2
25～29	100.0	1.9	50.2	38.7	8.1	1.1
30～34	100.0	3.4	52.2	35.6	8.0	0.8
35～39	100.0	5.1	54.8	32.5	6.8	0.8
40～44	100.0	5.1	58.5	30.0	5.8	0.5
45～49	100.0	5.8	60.3	27.9	5.5	0.6
50～54	100.0	8.1	62.5	24.3	4.5	0.6
55～59	100.0	10.5	62.7	22.2	4.1	0.6
60～64	100.0	16.1	62.7	18.1	2.6	0.5
65歳以上	100.0	35.7	51.0	11.1	1.7	0.5

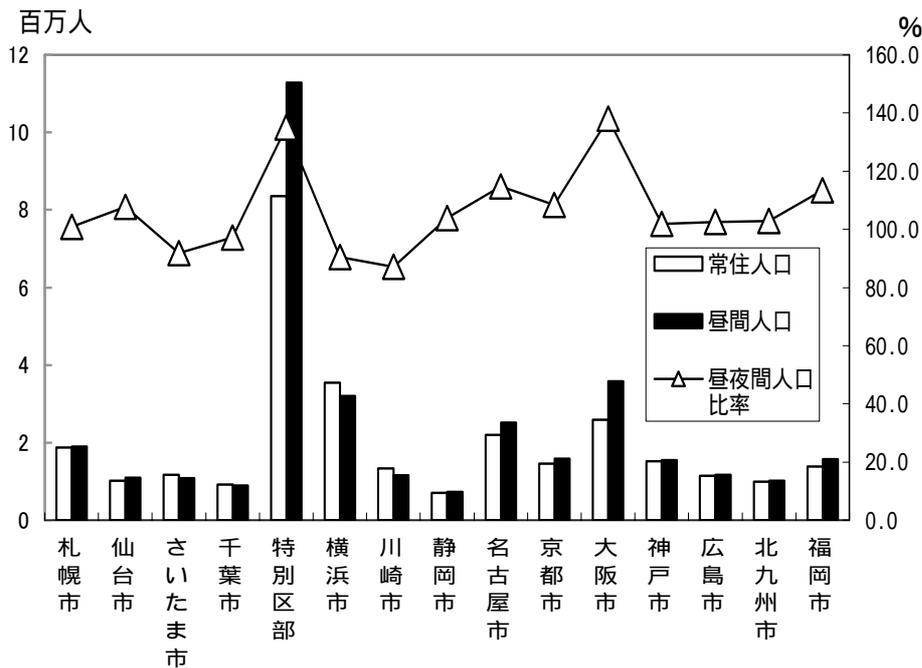
従業地別 15 歳以上就業者の構成比を、産業別にみると、自宅従業者では、全産業（構成比 7.7%）に比べて、農業（同 71.1%）、林業（同 21.1%）、漁業（同 71.6%）といった第 1 次産業（同 70.9%）で高いほか、不動産業（同 21.3%）でも高くなっている。自市内他区従業者は、全産業（同 32.5%）に比べて、情報通信業（同 48.8%）、電気・ガス・熱供給・水道業（同 47.4%）、公務（他に分類されないものを含む）（同 45.3%）で、金融・保険業（同 43.4%）で高くなっている。また、県内他市区町村の従業者の割合は、全産業（同 8.6%）に比べて、電気・ガス・熱供給・水道業（同 15.1%）で高くなっている。

表8 産業、従業地別 15歳以上就業者数

産業（大分類）	実数（人）						構成比（%）					
	総数	自宅で 従業	自区 （自宅外）	自市内 他区	県内 他市区 町村	他県	総数	自宅で 従業	自区 （自宅 外）	自市内 他区	県内 他市区 町村	他県
総数 1)	436,842	33,791	217,188	141,868	37,391	6,604	100.0	7.7	49.7	32.5	8.6	1.5
第1次産業	3,820	2,710	841	170	70	29	100.0	70.9	22.0	4.5	1.8	0.8
A 農業	3,209	2,282	690	160	65	12	100.0	71.1	21.5	5.0	2.0	0.4
B 林業	19	4	11	3	1	-	100.0	21.1	57.9	15.8	5.3	0.0
C 漁業	592	424	140	7	4	17	100.0	71.6	23.6	1.2	0.7	2.9
第2次産業	108,633	8,178	50,634	34,805	12,785	2,231	100.0	7.5	46.6	32.0	11.8	2.1
D 鉱業	242	5	168	43	17	9	100.0	2.1	69.4	17.8	7.0	3.7
E 建設業	44,906	5,670	22,532	12,228	3,348	1,128	100.0	12.6	50.2	27.2	7.5	2.5
F 製造業	63,485	2,503	27,934	22,534	9,420	1,094	100.0	3.9	44.0	35.5	14.8	1.7
第3次産業	315,363	22,287	159,333	105,360	24,124	4,259	100.0	7.1	50.5	33.4	7.6	1.4
G 電気・ガス・熱供給・水道業	1,952	-	690	926	295	41	100.0	0.0	35.3	47.4	15.1	2.1
H 情報通信業	7,802	276	2,416	3,810	1,139	161	100.0	3.5	31.0	48.8	14.6	2.1
I 運輸業	28,893	661	13,761	11,343	2,411	717	100.0	2.3	47.6	39.3	8.3	2.5
J 卸売・小売業	87,383	7,896	46,115	25,738	6,425	1,209	100.0	9.0	52.8	29.5	7.4	1.4
K 金融・保険業	10,479	609	4,157	4,543	952	218	100.0	5.8	39.7	43.4	9.1	2.1
L 不動産業	5,606	1,195	2,570	1,577	233	31	100.0	21.3	45.8	28.1	4.2	0.6
M 飲食店、宿泊業	22,022	1,685	14,181	5,052	933	171	100.0	7.7	64.4	22.9	4.2	0.8
N 医療、福祉	51,718	1,852	30,329	15,702	3,507	328	100.0	3.6	58.6	30.4	6.8	0.6
O 教育、学習支援業	19,085	938	8,479	7,483	1,897	288	100.0	4.9	44.4	39.2	9.9	1.5
P 複合サービス事業	2,982	32	1,627	936	364	23	100.0	1.1	54.6	31.4	12.2	0.8
Q サービス業（他に分類されないもの）	64,313	7,141	29,694	22,302	4,410	766	100.0	11.1	46.2	34.7	6.9	1.2
R 公務（他に分類されないもの）	13,128	2	5,314	5,948	1,558	306	100.0	0.0	40.5	45.3	11.9	2.3

1)分類不能の産業を含む。

(参 考) 大都市の常住人口、昼間人口、昼夜間人口比率



	常住人口		昼間人口				昼夜間人口比率		
	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	増減数	増減率 (%)	平成12年	平成17年	増減
札幌市	1,797,479	1,877,965	1,820,757	1,893,946	73,189	4.0	101.3	100.9	0.4
仙台市	1,007,628	1,020,160	1,090,162	1,098,981	8,819	0.8	108.2	107.7	0.5
さいたま市	1,131,538	1,172,944	1,036,978	1,077,638	40,660	3.9	91.6	91.9	0.3
千葉市	883,008	919,550	858,702	894,027	35,325	4.1	97.2	97.2	0.0
特別区部	8,092,268	8,351,955	11,125,135	11,284,699	159,564	1.4	137.5	135.1	2.4
横浜市	3,414,860	3,545,447	3,091,166	3,205,144	113,978	3.7	90.5	90.4	0.1
川崎市	1,249,029	1,326,152	1,097,090	1,154,436	57,346	5.2	87.8	87.1	0.7
静岡市	710,830	700,575	744,132	727,210	16,922	2.3	104.7	103.8	0.9
名古屋市	2,148,949	2,193,973	2,514,549	2,516,196	1,647	0.1	117.0	114.7	2.3
京都市	1,461,052	1,460,688	1,591,082	1,582,980	8,102	0.5	108.9	108.4	0.5
大阪市	2,595,394	2,594,686	3,664,414	3,581,675	82,739	2.3	141.2	138.0	3.2
神戸市	1,492,143	1,520,551	1,536,716	1,547,971	11,255	0.7	103.0	101.8	1.2
広島市	1,132,660	1,144,498	1,170,208	1,174,401	4,193	0.4	103.3	102.6	0.7
北九州市	1,010,127	992,654	1,044,966	1,020,447	24,519	2.3	103.4	102.8	0.6
福岡市	1,336,662	1,384,925	1,531,174	1,571,184	40,010	2.6	114.6	113.4	1.2

注) さいたま市、静岡市、京都市、広島市の平成12年の人口は、合併市町村を合計した人口である。